

鳥取市 人権啓発DVD～高齢者の人権問題～

背番号	タイトル	分類	時間	制作年	備考	内容
D5 D6	老いを生きる ～今日も何処かで高齢者のサインが！～	DVD	35分	平成18 (2006)年	ちらし	誰もが通らなければならない老いの問題を自分のこととして捉え、日常生活の中で高齢者に対するやさしさや思いやりの心が、態度や行動に表れるような人権感覚を身につける作品です。
D7 D8	夢のつづき	DVD	40分	平成20 (2008)年	字幕 ちらし 解説書 アニメ	家族の中で疎外感を抱く高齢者、認知症を患う高齢者、その介護に疲れ果てた高齢者や無気力な毎日を送る若者らが、世代の異なる者とのふれあいや、高齢者を支援するサービスの活用などで、家族のきずなを深め、生きがいを感じられる生活を送ることができるようになっていく様子を描いています。
D9	なぜ、介護者が虐待を… ～介護者支援から高齢者虐待のない社会へ～	DVD	24分	平成23 (2011)年	ちらし	高齢者虐待は、介護を担う人が精神的・肉体的に追い詰められた末に起こるケースが多いといえます。様々な高齢者虐待の事例を再現ドラマで示しながら、6年前に施行された法令の周知を図り、虐待防止のあり方や、悩みを抱えた介護者を支援することの大切さを訴えます。
D10	ここから歩き始める	DVD	34分	平成27 (2015)年	字幕 副音声	この作品は、「認知症を共に生きる」をテーマに、高齢者問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉えます。認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなの紡ぎなおしを描くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなるドラマ教材です。
D11	認知症の”人の気持ち” ～思いを理解してかかわる	DVD	74分	平成27 (2015)年		認知症は、かかわり方によって状態が大きく変化することが知られています。介護職が「かかわる力」を向上させるためには、「病气」の理解はもちろん、「人の気持ち・思い」の理解が大切です。このDVDを施設内研修で活用して、認知症の人への「かかわる力」をレベルアップしましょう！
D12	新任横山君の初めての虐待対応	DVD	24分	平成22 (2010)年	解説書	高齢者虐待防止ネットワークや、擁護者による高齢者虐待への対応手順、地域包括支援センターとの連携や役割分担等、高齢者虐待防止法に基づいた虐待対応の基本を、再現ドラマを交えて解説しています。行政の新任職員にもぜひ見ていただきたい作品です。

鳥取市 人権啓発DVD～高齢者の人権問題～

背番号	タイトル	分類	時間	制作年	備考	内容
D13	認知症の人から学ぶ ～クリスティーン・ブランデン講演より	DVD	23分	平成19 (2007)年	小冊子 解説書	パート1は、認知症の人本人や家族が体験する、診断を受けた当初の困難な状況や、この時期に必要な支援とは何かについて考えます。パート2では、認知症の人がその障害のために、日常生活の中でどのような体験をしているかについて学びます。パート3では認知症の人が求めるケアについて学びます。
D14 D15	ここから歩き始める	DVD	34分	平成27 (2015)年	字幕 副音声	この作品は、「認知症を共に生きる」をテーマに、高齢者問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉えます。認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなの紡ぎなおしを描くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなるドラマ教材です。
D16	ケアする人を支えるために	DVD	27分	平成22 (2010)年		ある在宅の利用者にサービス提供をする、3人のケア者(ホームヘルパー)のケースステディが描かれています。セッション毎にDVDを停止して、視聴した時の気づきを出しあうことが出来るように構成されており、訪問介護事業所等での職場研修で活用できます。
D17	DVDBOOK 認知症の人とともに	DVD	90分	平成28 (2016)年	解説本	映像と解説でグループワークで学ぶ— 本人の思いや、認知症への理解を深め、地域や職場で取り組むテキスト！ 1. 地域の人びとと認知症について理解を深める教材として 2. 診断を受けた人のために 3・ケアパートナーになろうと思う人のために 4・地域の人や職場でグループワークで理解を深めましょう。

鳥取市 人権啓発DVD～高齢者の人権問題～

背番号	タイトル	分類	時間	制作年	備考	内容
D18	認知症と向き合う	DVD	30分	平成28 (2017)年	字幕版・ 解説シート	高齢化の進展に伴い、認知症の人が、今後更に増加することが予測されています。一方で、多くの人たちが認知症に対して知識不足であり、偏見を抱いているのではないのでしょうか？確かに認知症の人の行動は不可解であり、その気持ちや行動の理由を理解するのは大変なことです。しかし、認知症の人の立場に立てば、どんな行動にも本人なりの理由や思いがあります。健康な人の常識で認知症の人の言動をおかしいと判断し、改めさせようとするのが、介護する家族と認知症の人の両方を苦しめてしまいます。大切なのは、認知症の人が築いている世界を理解し、尊重することなのです。 本作品は、認知症によくみられる症状、認知症の人の思いと家族の気持ちの変化、症状の理解、介護者の交流の大切さなどを描いたドラマ教材です。認知症の人もその周囲の人も、よりよく生きていけるように。認知症について正しい知識を持ち、認知症の人の視点に立って認知症への理解を深めることを目的に制作しています。
D19	よいお年を 青葉のころ よいお年を2	DVD	88分 84分			「よいお年を」は、介護保険制度が始まる5年前。1995年に埼玉県坂戸市の民間福祉施設“元気な亀さん”を一年間にわたって追いかけた長編ドキュメンタリーです。そして3年後の「青葉のころ よいお年を2」では、若いスタッフが増えており、映画は様々な質問をなげかける。そのひとつひとつに答えていくスタッフたち。“老い”に接した彼らの驚きや戸惑い、そして喜びを鮮やかに描きながら、介護の在り方を真摯に問いかける。
D20	「やさしく」の意味 -おばあちゃんは認知症だった-	DVD	33分	平成31 (2019)年	字幕 ちらし	この作品は、敦賀市で開催された「小中学生の認知症サポーター作文コンテスト」で、最優秀作品に選ばれた小学4年生(当時)・三輪由実さんの『「やさしくする」ということ』という作文を脚色し、ドラマ式的教育映画にしたものです。 全国の認知症患者、その家族、そして彼らを取り巻く地域社会。一人一人が安心して暮らしていくためにできる工夫とは何かを示唆していくものです。
D21	家族の介護が心配です ～仕事と介護を両立させる 秘訣～	DVD	23分	平成31 (2019)年	字幕 ちらし	一人で悩んでいませんか？介護が身近になった今、あなたを助ける様々な方法があります。 ■仕事と介護が両立できなくなるパターン■介護離職後の問題点■介護への備え■介護が始まったら■会社への対応 ■まとめ いざという時に介護離職しないよう、日ごろから情報を集め、備えておくことが大切です。

鳥取市 人権啓発DVD～高齢者の人権問題～

背番号	タイトル	分類	時間	制作年	備考	内容
D22	永遠の記憶～認知症を知る～	DVD	30分	平成29 (2017)年	字幕	一歩くが忘れない この絵は消えることのない記憶ー ドラマ形式で認知症の症状をわかりやすく表現し、立場や環境 の違う人を思いやる心をもつことの大切さを学んでもらうために 制作されました。文部科学省選定作品。
D23	母のさがしもの 認知症とともに生きる	DVD	32分	令和6 (2024)年	字幕・副 音声・活 用ガイド	誰しもが認知症に関わる可能性のある現代社会において、認知 症の人が尊厳を保持しながら希望を持って暮らしていくために は、周囲の人が認知症に対する正しい知識と理解を持つことが 重要です。 認知症は人によって症状も様々です。この教材は、ある家族の 視点を通じて、症例を織り交ぜながら認知症に関する理解を深 め、認知症の人の不安や家族の悩みを知り、本人や家族の孤 立を防ぐために介護者や地域の交流の重要性を示すと同時に、 本人の気持ちに寄り添うことの大切さを学ぶドラマ形式の映像教 材です。 認知症の人を含むすべての人が相互に人格と個性を尊重しつ つ支え合いながら『ともに生きる』社会の実現をめざして、このド ラマ教材を制作しました。
D24	おばあちゃんは認知症～お兄ちゃんからの手紙～	DVD	15分	令和7 (2025)年	字幕・副 音声	認知症の症状が進んだおばあちゃん、部活動も勉強も上手くい かず自分を見失っていた中学生の男の子とその家族、先の戦争 で若くして亡くなったおばあちゃんの兄たちが織り成す物語を通 して、認知症の人との接し方・相手を思いやることの大切さ・命と 平和の尊さを伝えるアニメーション作品です。